

鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	平成 29 年度第 1 回鳥羽市地域公共交通会議全体会
開催日時	平成 29 年 8 月 10 日 (木) 9:45~11:30
開催場所	鳥羽市民文化会館 3 階 中会議室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 鳥羽市地域公共交通網形成計画 (案) について
会議資料	【資料 1】 席次表 【資料 2】 委員名簿 【持参資料】 鳥羽市地域公共交通網形成計画<第 3 稿>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	2 人 (三重交通 (株) 服部、西村)
出席委員	立花会長、加藤委員、西原氏 (小出委員代理)、富永委員、村林委員、三村委員、中垣内委員、世古口委員、榎委員、岩本委員、名古屋委員、今井委員、小寺兵吾委員、西川委員、山下委員、世古委員、岩佐氏 (清水清嗣委員代理)、山崎委員、矢田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	板谷委員、小寺広次委員、中村委員、清水豊委員、渥美委員、小久保委員、東川委員、濱口委員
事務局	定期船課 中井、野呂、大矢

1. 開会

○中井事務局長

- ・開会
- ・配布資料の確認

○中井事務局長

本日の会議ですが、近年はバス幹事会、定期航路幹事会に分かれてそれぞれ議論をしていただいておりますが、今回の議題であります公共交通網形成計画 (案) につきましては、バス、定期船を含めてすべての公共交通に関する計画でございます。そのことから、こうして両幹事会委員の皆さんに集まっていただきご議論いただくことになりました。どうぞよろしくお願ひします。なお、本日の会議の終了時間は 11 時 30 分をめどにしておりますことから皆さんのご協力をよろしくお願ひします。それでは開会にあたりまして、本会の会長であります立花副市長からご挨拶申し上げます。

○立花会長

みなさん、おはようございます。

本日は、ご多忙の中、また暑い中に関わらず地域公共交通会議全体会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

日頃は、バス事業にご理解とご協力をいただきまして、また、当市の交通事業の多岐にわたりご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

先日襲来いたしました台風 5 号につきましては、定期船は午前 8 時以降が全便欠航となり皆さんには大変ご迷惑をおかけしたものの、市内全体では大きな被害もなくほっとしているところでございます。

さて、今回の会議は、幹事会での分割討議ではなく全体会としてこれまで議論を重ねてきた公共交通網形成計画 (案) を中心にご討議いただきたいと考えております。この計画 (案) も皆様方のご協力のもと多くのご意見・ご指摘をいただき、修正・推敲を重ね、お手元にあるとおり第 3 稿になりました。

私どもといたしましては、本日の会議でご討議いただいたご意見等を取り入れたものを第 4 稿として、それでパブリックコメントを行ったうえで、寄せていただいたご意見を反映したものを最終案として皆

様にご提示し、ご承認いただけましたら、それをもちまして計画の完成とさせていただきたいと考えております。本日もなにとぞご協力をよろしくお願いいたします。

○中井事務局長

委員の出席、欠席について報告

なお、7月の人事異動に伴いまして、バス幹事会委員で三重交通伊勢営業所長の三村委員が、新たに参加していただくことになりました。

三村委員、よろしければ一言ご挨拶をお願いします。

(三村委員挨拶)

○中井事務局長

ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

2. 協議事項

鳥羽市地域公共交通網形成計画（案）について

○大矢事務局長

鳥羽市公共交通網形成計画（案）について、前回から修正した点を説明。

○立花会長

事務局から説明いたしました。疑問点、修正箇所、ご意見・ご質問等がありますか。

○三村委員

6pにあります高速バスの記載のところで「西武交通」と記載がありますが、おそらく「西武バス」の間違いだと思えます。

○立花会長

訂正させていただきます。その他にありますか。

○富永委員

確認ですが、24pで基本的な方針として、「鳥羽市コミュニティ交通システムの確立を目指す」と記載されておりますが、一方で27pには目標としてⅠ～Ⅴまで記載があります。「鳥羽市コミュニティ交通システムの確立」というのは基本的な方針であって、目標の中では全体目標としての扱いということではないのですか。

○大矢事務局長

はい。富永委員がおっしゃるとおり、基本的な方針があって、その下に個別の目標があるということです。まさにp28の表のイメージです。

○富永委員

28pの表は路線バスと市営定期航路となっておりますが、「鳥羽市コミュニティ交通システム」というのはバスと定期船に絞られてたシステムという解釈でいいのですか。

○大矢事務局長

28pはバスと定期船に限って記載されています。

○富永委員

そういう扱いにしているということですね。

○中井事務局長

はい。

○富永委員

「鳥羽市コミュニティ交通システムの確立」というのは全体目標なので、27pではあえて触れられないということですか。

○中井事務局長

はい。

○加藤委員

タクシーについて記載がないのはどうしてか。地域公共交通活性化再生法では、タクシーは公共交通として位置付けられていて、もしタクシーがないと鳥羽市ではタクシーは公共交通ではないということになる。他の自治体でもタクシーに関する記載はありますので、特別な事情がない限りタクシーについて記載してほしい。

24pの基本的な方針がよくわからない。要は「鳥羽市コミュニティ交通システム」の定義が大事。そのことについては、24p6.2.の2段落目に概念的なものが書いてあって、25pの6.4.が具体的な公共交通網が書いてあるのだと思います。こういう風にしていくということで、基本的な方針のところに鳥羽市コミュニティ交通システムを確立していくということなので、要するに6.4.は6.2.にいれちゃえばいいと思います。それでコミュニティ交通システムの定義ということにすればわかりやすい。基本的な方針というのが目標とかある中でなんなのかわからない。6.5.は6.4.になるとと思いますが、結局鳥羽市コミュニティ交通システムを維持発展させるというのが第2目標になって、それを具体的に分解するとローマ数字のI~Vとなるということでもいいんじゃないでしょうか。

25pの黒丸の交通機関は26pの図と対応していないといけないので確認をしておいてください。

27pで第2次連携計画を踏襲しさらに発展と書いてあるが、何を踏襲して何が発展したのかがわからない。I~Vの目標が変わっていない。本当はちょっと変わっていると思います。例えば交通体系の構築はもうされているんじゃないですか。維持発展とか充実とか質の向上ということになるとと思います。何が発展しているのかを書いてほしい。

30p以降の個別事業、36pの表について、新規事業は「新規」と記載してほしい。

36pの表は見やすいので、この表に実施主体を書いてもらうと非常にわかりやすい。

39pの表8-2について、これは8-1ですね。あとこの表には、地域公共交通会議をいつやるのかを書いておいた方がいい。今は6月にやるとしか書いていないが、実際は12~2月にも開催しますよね。国の事業評価は2月~3月ですよね。

○立花会長

ご指導いただきました点について事務局で修正してまたお示ししたいと思います。他にありませんか。

○西原氏（小出委員代理）

伊勢湾フェリーについての個別事業の実施主体が、伊勢湾フェリー(株)、鳥羽市となっていますが田原市とは連携していないのですか。

○中井事務局長

今回の計画は鳥羽市管内の計画ということで、あえて田原市をいれていないだけです。

○大矢事務局員

鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画がありまして、その中で協議会を立ち上げて活動をしています。そのメインのメンバーは鳥羽市、田原市、伊勢湾フェリー(株)です。

○富永委員

38 pにある地域公共交通会議の組織図の中で、本会議と記載されていますが、今回の全体会と同じものですか。

○中井事務局長

いつも幹事会を行っているのですが、全体会とさせていただきますが、本来的には鳥羽市地域公共交通会議ということになります。

○富永委員

本会議ということですね。

○岩佐氏(清水委員代理)

32 pの7.3.3.2(4)案内の多言語化についてですが、離島の方まで案内の多言語化することを考えていますか。

○中井事務局長

離島の定期船乗り場に関しては、考えていかなければならないと思います。

○岩佐氏(清水委員代理)

34 p7.3.7.2(5)団体利用を促進するための取り組みについて、今現在想定している取り組みはどのようなものがありますか。

○矢田委員

過去に団体利用された方に、団体利用のためのパンフレットを作成し、個々に送付してどうぞ定期船を利用してくださいといった取り組みをしております。

○岩佐氏(清水委員代理)

40 pの定期航路乗船人数の数値目標について、前回の会議でももっと前向きな目標をとという意見もあったが、現状と同じのままでいいのですか。

○大矢事務局員

40 pの※に記載してあるとおり、鳥羽市総合計画の中では、人口減少を見込みもっと少ない数値になっております。しかし、この計画の中では、観光客の増加で人口減少分を埋めて、結果として現状と同数となることを考えています。よって数値の意味としては前向きな数値だと思っています。

○加藤委員

そこは説明を書いた方がいいと思います。前向きなら前向きと書いた方がよい。

○立花会長

欄内にいれるなど※のところの説明をかえた方がいいですね。

○加藤委員

インバウンドについて、日本はすごく人気が出てきています。東京では一年前に比べても大変増えている。移動方法は、貸切バスが減っており、公共交通で来られる方がふえています。いったんSNSや旅行ガイドに載ると桁違いに伸びることもあります。もちろん生活交通を確保するのは大事だが、観光客に利用していただけるかも大事。案内の多言語化について、意外と日本語だけで書いてあっても通じますが、外国に来て母国語があると嬉しいと思う。そういう意味では多言語化はいいと思う。離島は船乗り場だけでも10カ国語書いてあるといいと思う。鬼怒川温泉は24カ国語対応していた。先日、岡山の笠岡諸島に行ったのですが、初めて離島に行くのと降りてぐるぐる周るうちにどこが船着き場がわからなくなるので、こちらが船着き場ですという表示はした方がいいと思います。鳥羽駅の案内表示については、これまで改善してきたが、いろいろな調査結果でもまだわかりにくいという意見もあったので、船で離島行くにはこちら、バスセンターと鳥羽駅バス停の仕分けはどうか等、どんなサインが必要か、もう一度見直した方がいい。計画の個別事業の中に案内掲示、サインについて入れてほしい。

34p(7)の見える化についても、これだけではわかりにくいので、もっとわかりやすい説明を記載してほしい。

○山下委員

団体利用を促進する取り組みについて、案内を出してもらっているとのことですが、その場合でも割引率は同じですか。

○大矢事務局員

割引率は同じです。旅行代理店等に働きかけて、プランを作ってもらっていますが、旅行代理店経由でクーポンを発行した場合は、5%の手数料を旅行代理店に支払っています。

○山下委員

手数料払う分を、運賃の割引にまわしてほしい。15人から1割を10人で1割にしてはどうか。結局回数券と同じなので、鳥羽市の定期船は観光客にも優しいというようにアピールできると思う。

○中井事務局長

実際、5～6人で来られる方ですと、回数券を買う方はいます。窓口でも回数券を勧めることがあります。

○今井委員

逆に代理店を使うからこそ、いろいろなお客様を引っ張ってきてもらえることがあると思う。

○大矢事務局員

最近では、冬場、桃取で牡蠣を食べにくるツアーがあります。近鉄がクーポンを発行して、鉄道料金と定期船料金等をセットにして販売し、鳥羽市は近鉄から運賃をいただく。その際にクーポン代として近鉄に5%の手数料を支払っています。そういうお客様を増やしていきたいので、ツアーを企画しているような会社に離島そのものの情報を知ってもらうために営業活動をしているところです。

○今井委員

5%が広告代と考えれば、いろいろな方に知ってもらえていいことですね。

○立花会長

他にございませんか。

○今井委員

鳥羽のタクシーという観光というイメージがありますが、一般市民の方も買い物等で使用している。そのあたりをどういう風に市として取り組んでいきますか。

○中井事務局長

今の時点で、何をというのは即答ができないんですけど、タクシー団体とも話をして、どのようなことができるか検討していきたい。

○西川委員

台風5号は午前8時で欠航になったが、離島住民にとっては厳しい決定だと思う。神島航路などは外海なので仕方がないが、なるべく欠航本数を減らしていく方法はないか。小中学校では欠航した際の授業に配慮があるが、高校では授業が飛んでしまう。もう少し運航できるのではないかと島の人々の声を反映させてほしい。

○中井事務局長

私も離島出身であり離島住民の気持ちは十分分かっていきます。昔に比べて、船はよくなっていますが、佐田浜の港は前にでております。今回の欠航についてはいろいろなご意見もいただいております。ただ実際に9時ごろには佐田浜の前は荒れておりました。今回、欠航の時間について間違っただとは考えていませんが、仮に間違っただけで早く止めてしまったとしたら、課長としてどれだけでも謝罪します。しかし逆に止めるのが遅くて人命が損なわれた場合は、責任が取れない。実際、保安庁からもまだ運航しているのかという注意も受けることもあります。離島が不便になるということは分かりますが、人命と比べた場合、安全の方を重視します。そのあたりはご理解いただきたい。

○西川委員

理解はしています。そういう答えが課長からあったことは離島の住民にも伝えたいと思います。もう一点。防災訓練について、運航中に津波があった場合、近くの港に入ってお客様を安全なところに避難させるということですね。避難訓練は年1回ということですが、これまでやっていますか。

○矢田委員

運航管理者である私と乗組員が各離島まわりまして避難場所を下見しています。桃取航路と坂手航路については、実際に定期船を持って行って津波避難訓練の日に住民の方と一緒に同時に行っています。そういうことを続けておりますので、これをすべての離島で行いたいと思っています。

○加藤委員

全国の航路を対象としたこういう計画では、欠航率を目標として書いてあるものもあります。その場合は、船を改善する等の理由にしている。今回はそういうことではないので欠航率について記載するのは難しい。今の時代は安全、コンプライアンスについて厳しいので、ちょっと出ようかというのは難しい。そういう時に代替できる仕組みが離島の場合は必要。別の離島では船着き場のところにサテライトで学校の授業が見られるようにしている。逆に帰れないときは泊まれるようにしている。そういうのがないと、離島は相対的に不便なので人口減少が止まらない。一朝一夕にはできないことですが考えていかなければならないと思う。

○西川委員

定期船課は欠航する場合、伊勢の高校にもすぐに一報いれていただいて、子供達は時にはタクシーを利用して帰ってくる。そういう仕組みが出来上がっており、その辺はありがたい。ただ欠航率は昔に比べて上がっています。子供たちが離島側で授業を受けるシステムがあればいいと思います。いいアド

バイスをいただいたと思います。

○加藤委員

欠航については、ホームページや離島ですぐ周知しているんですよね。

○中井事務局長

登録されている方にメールを配信しており、それが一番早いです。

○西川委員

欠航情報は、すぐに伝わります。

○山下委員

チケット導入事業について、具体的にはどういうものを考えていますか。

○中井事務局長

現在のところ、具体的なものはないですが、鳥羽の日などのイベント時に相乗りしてということを考えています。

○山下委員

例えば、みなとまつりはどうですか。それは離島から出てくる分なので関係ないですかね。

○中井事務局長

記念チケットではないですが、みなとまつりでは以前往復券を売っていたこともありました。検討したいと思います。

○矢田委員

地元住民はほとんど定期券、回数券ですね。

○山下委員

割引率は変わらないということですね。

○加藤委員

スタンプラリー的なものは、今までやったり、考えたことはありますか。

○世古委員

過去にやったことがあります。

○加藤委員

今、やるとインパクトがある。調査結果でも周遊することがないという結果があるので、スタンプラリーで全部周ると何かをもらえる。そうすれば一定数は周遊してもらえる。あそこここをいくと合わせてご利益がある。そういうのを考えた方がいいのかなと思います。

○岩佐氏（清水委員代理）

以前、姫路の家島に行ってきました。そこでは民間事業者が離島航路事業を上手に運航していました。今後、民間委託をする考えはありますか。

○中井事務局長

現在のところは考えておりません。唯一の航路ということで国から補助金もいただいている。

○西原氏（小出委員代理）

34 p（9）美化事業は、三重交通（株）が実施主体に入ってもらうことはできないのですか。

○中井事務局長

バス停の美化に関しては、自分たちのバスであるという意識の醸成のためにやってもらっているので、三重交通がバス停をきれいにするのは趣旨が違います。

○西原氏（小出委員代理）

34 p（1）（2）に関しては、PRなどもありますので三重交通が外れているのはなぜですか。

○中井事務局長

かもめバスは、三重交通に委託させていただいておりますが、基本的な事業主体は鳥羽市なのでこのような記載になっております。

○西原氏（小出委員代理）

そういう意味ですね。

○大矢事務局長

関連ですが、美化について、前回の会議で意見をいただきましたので、活動をしている団体に話をしに行きました。話の中で活動が公共交通のためになっているという話をさせていただいたら、人員が少なくて活動自体が途絶えそうなところ、モチベーションの一つにさせていただけたようで、いい話ができたと感じました。

○西原氏（小出委員代理）

地域を巻き込んでということですね。

○今井委員

公共交通が独立しているのではなくて、それを使っている街の人たちが、一緒になってやっている。そういう活動の一つの表れとして、バス停や通り沿いに花を植えることを挙げさせてもらったんです。

○西原氏（小出委員代理）

そういうのが、表に出ていけばいいことですよね。

○立花会長

できれば、そのような活動は誰がやっているかの札を上げてほしい。アピールしてほしい。

他にありませんか。

それでは、皆さまからの意見も盛り込みまして、事務局で修正版を作成し皆様に配布させていただきます。その後パブリックコメントを行いたいと思います。パブリックコメント後は、パブリックコメントでいただいた意見を盛り込んで修正して再度ご審議をしていただきたいと思います。パブリックコメントの時期、次回開催日時は後日通知させていただきます。

事務局からは以上ですが、委員の皆様から何かございますか。

○山下委員

桃取で、この冬から牡蠣の食べ放題が、また一件増えます。

定期船 12:15 に乗って牡蠣を食べて 14:15 で帰ってくると、5分10分のところで駐車場料金がちょうど値上がりしてしまう。なんとかしてほしい。

○中井事務局長

現在、ダイヤについては、鉄道やバスとは連携していますが、駐車場とは連携していない。検討はしたいと思います。

○大矢事務局員

旅館組合は駐車場を管理する開発公社と直接話をしていますよね。

○山下委員

旅館の場合は、駐車場代を旅館が支払っている。牡蠣の食べ放題はかつかつでやっているの、支払う事ができない。

○西川委員

そこは受益者負担の問題じゃないかなと思う。定期船課に言ってもいけないのではないかな。

もう一点。パークアンドライドについて、計画に記載がないのはいいのかな。

○加藤委員

イベント時だけであれば、あまり記載はしなくてもよいのでは。常時行っており、周知していかなければいけないのであれば計画に書いてもいいのではないかな。

○世古委員

臨時駐車場をやっていますが、帰省客はひだまりに来ていただいて、町中の駐車場を少しでも空けたい。そのことはもっとPRしてもいいのかなと思う。

3. 閉会

○立花会長

平成29年度第1回鳥羽市地域公共交通会議全体会の議題について全て終了しました。それでは会議の進行を事務局に戻させていただきます。

○中井事務局長

本日は忙しい中どうもありがとうございました。これにて第1回鳥羽市地域公共交通会議全体会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。